

NY マーケットレポート (2017年1月5日)

NY 市場では、序盤に発表された米 ADP 雇用統計が市場予想を下回る結果となったことや、ISM 非製造業景況指数の雇用指数が低下したことから、週末の米雇用統計に対する懸念が広がり、ドルは主要 10 カ国通貨や新興市場通貨の大半に対して下落となった。また、米株価の下落や、米債券利回りの低下も加わり、円が買われる動きとなり、クロス円も軟調な動きとなった。その後は、株価が下げ幅を縮小する動きとなったこともあり、クロス円は値を戻す動きとなったものの、ドルは終盤まで主要通貨に対して上値の重い動きが続いた。

2017年1月5日(木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	115.94	117.43	115.59
EUR/JPY	122.44	123.12	122.18
GBP/JPY	142.80	144.66	142.75
AUD/JPY	84.67	85.45	84.61
EUR/USD	1.0559	1.0575	1.0481

LONDON	高値	安値
USD/JPY	116.79	115.68
EUR/JPY	122.63	122.22
GBP/JPY	143.74	142.51
AUD/JPY	85.14	84.55
EUR/USD	1.0570	1.0483

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	115.40	116.64	115.22
EUR/JPY	122.38	122.54	122.02
GBP/JPY	143.33	143.73	142.65
AUD/JPY	84.76	85.01	84.59
NZD/JPY	81.07	81.25	80.97
EUR/USD	1.0604	1.0616	1.0494
AUD/USD	0.7345	0.7356	0.7286

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19899.29	-42.87
S&P500	2269.00	-1.75
NASDAQ	5487.94	+10.93
日経225 (CME)	19425	-200
トロント総合	15586.58	+69.83
ボルサ指数	46719.99	+132.25
ボバスパ指数	62070.98	+481.92

1/6 経済指標スケジュール

08:50	【日本】12月対内外証券投資
09:00	【日本】11月毎月勤労統計[現金給与総額]
09:30	【オーストラリア】11月貿易収支
16:00	【ドイツ】11月小売売上高指数
16:00	【ドイツ】11月製造業受注
16:00	【ノルウェー】11月鉱工業生産
16:45	【フランス】11月経常収支
16:45	【フランス】11月貿易収支
19:00	【欧州】11月小売売上高
19:00	【欧州】12月サービス業信頼感
19:00	【欧州】12月業況判断指数
19:00	【欧州】12月小売売上高
19:00	【欧州】12月経済信頼感
19:00	【欧州】12月鉱工業信頼感
22:30	【米国】12月失業率
22:30	【米国】12月非農業部門雇用者数
22:30	【米国】11月貿易収支
22:30	【カナダ】12月失業率
22:30	【カナダ】12月雇用ネット変化率
22:30	【カナダ】11月国際商品貿易
23:00	【メキシコ】11月景気先行指数
23:00	【メキシコ】12月消費者信頼感指数
00:00	【米国】11月耐久財受注
00:00	【米国】11月製造業受注指数
00:00	【カナダ】12月Ivey購買部協会指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1181.30	+16.00
NY 原油	53.76	+0.50
CME コーン	361.25	+1.50
CBOT 大豆	1012.50	-2.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.166%	1.218%
3年債	1.408%	1.476%
5年債	1.847%	1.926%
7年債	2.156%	2.243%
10年債	2.346%	2.434%
30年債	2.940%	3.032%

ドイツ10年債	0.243%	0.276%
英国10年債	1.292%	1.335%

1/6 主要会議・講演・その他予定

- ・米大統領正式決定
- ・リッチモンド連銀総裁 講演
- ・シカゴ連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

12 月米チャレンジャー人員削減数 (前年比) 42.4% (前回 -13.0%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ チャレンジャー人員削減数 ▶

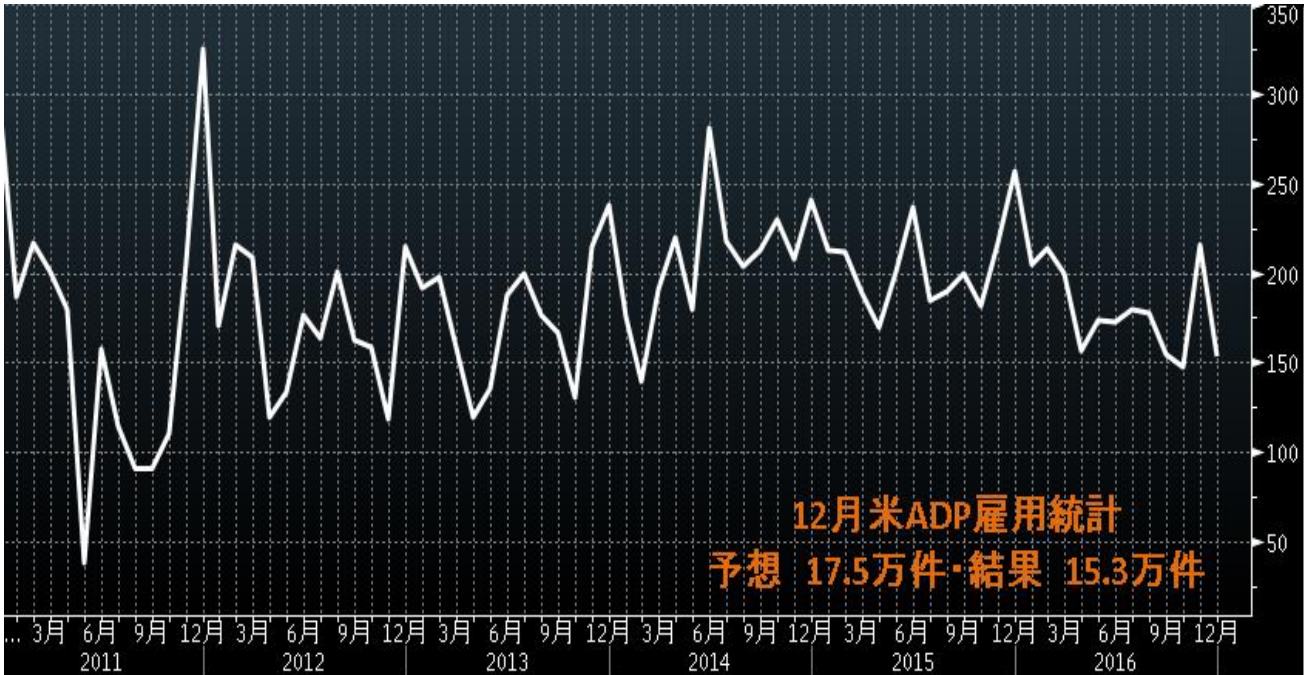
	12月	11月	10月	9月	8月	7月
合計	33,627	26,936	30,740	44,324	32,188	45,346
前年比 (%)	42.4	-13.0	-39.1	-24.7	-21.8	-57.1

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
東部	11,162	7,928	7,737	10,715	8,743	2,758
中西部	7,009	5,787	5,816	11,546	4,492	4,524
西部	10,895	11,451	12,733	7,336	14,100	32,287
南部	4,561	1,770	4,454	14,727	4,853	5,777

22 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

12 月米 ADP 雇用統計 15.3 万件 (予想 17.5 万件・前回 21.5 万件)
 前回発表の 21.6 万件から 21.5 万件に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ
 <<ADP 雇用統計>>

12月・11月・10月・9月・8月・7月・6月
 ADP 雇用者数 (前月比) ・ 15.3 ・ 21.5 ・ 12.4 ・ 19.6 ・ 16.2 ・ 21.4 ・ 26.2
 (万人)

12月の米ADP雇用統計によると、民間部門雇用者数は+15.3万人となり、市場予想の+17.5万人を下回る結果となった。11月分は当初発表の+21.6万人から+21.5万人に下方修正された。2016年の民間部門雇用者数は月平均+17.4万人と、2015年の+20.9万人を下回った。製造業や建設業を含む財生産部門の雇用は-1.6万人、このうち建設業は-0.2万人、製造業は-0.9万人。一方、サービス業は+16.9万人となった。従業員が500人以上の大企業の雇用者数は+6.3万人、50-499人の中堅企業では+7.1万人、49人以下の小企業では+1.8万人となった。



出所：Net Dania

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 23.5 万件 (予想 26.0 万件・前回 26.3 万件)
 前回発表の 26.5 万件から 26.3 万件に修正

米失業保険継続受給者数 211.2 万人 (予想 204.5 万人・前回 209.6 万人)
 前回発表の 210.2 万人から 209.6 万人に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀新規失業保険申請件数・継続受給者数▶

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/12/31	235,000	-28,000	256,750	***	***
16/12/24	263,000	-12,000	262,500	2,112,000	1.5%
16/12/17	275,000	+21,000	263,750	2,102,000	1.5%
16/12/10	254,000	-4,000	257,750	2,039,000	1.5%
16/12/03	258,000	-10,000	252,500	2,021,000	1.5%
16/11/26	268,000	+17,000	251,500	2,007,000	1.4%
16/11/19	251,000	+18,000	251,000	2,084,000	1.5%
16/11/12	233,000	-21,000	253,000	2,043,000	1.5%
16/11/05	254,000	-12,000	260,000	1,983,000	1.4%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は前週比-2.8万件的23.5万件的となり、2週連続で減少した。また、節目となる30万件的を96週連続で下回っている。申請件数の4週移動平均は、前週比-5750件の25万6750件となった。集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+1.6万人の211.2万人となり、4週連続で増加した。受給者総数の4週移動平均は、前週比+2万6250人の206.7万人。受給者比率は、前週比横ばいの1.5%となった。

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月カナダ鉱工業製品価格(前月比) 0.3% (予想 0.5%・前回 0.7%)

11月カナダ原料価格指数(前月比) -2.0% (予想 -1.8%・前回 3.3%)



出所: Bloomberg

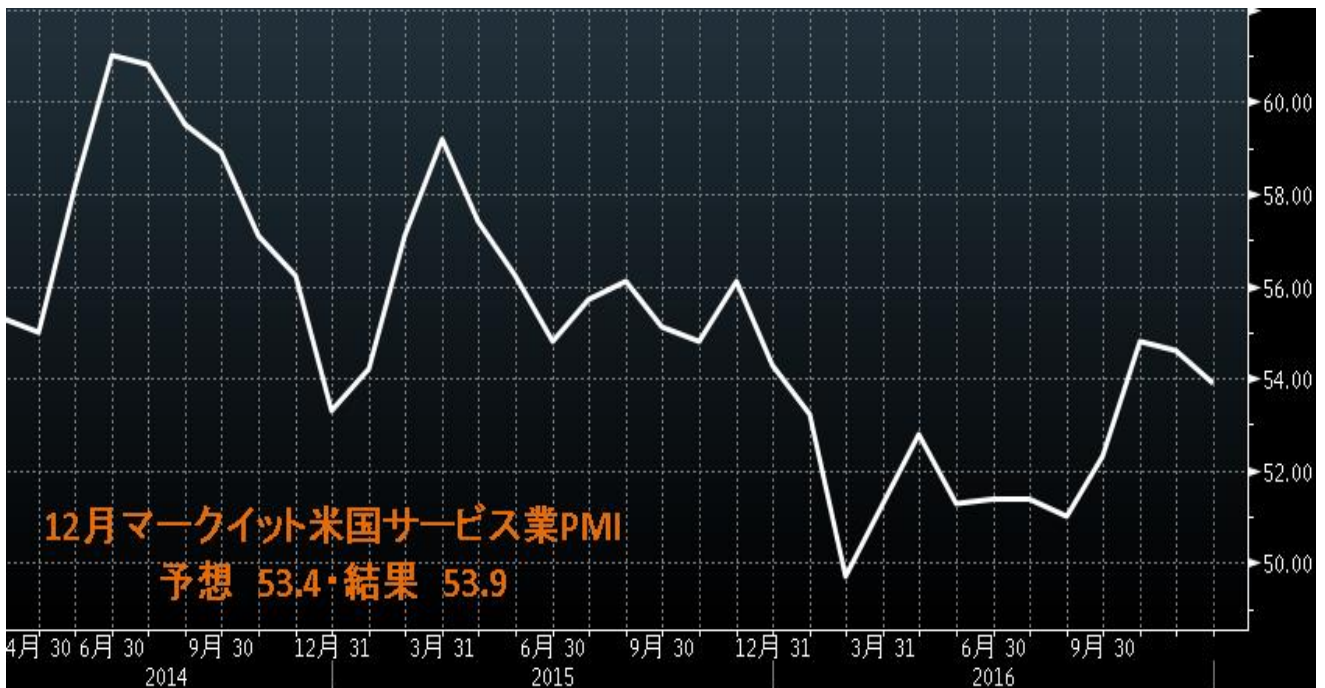


出所：Bloomberg

23 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

12月マークイット米国サービス業PMI 53.9 (予想 53.4・前回 53.4)



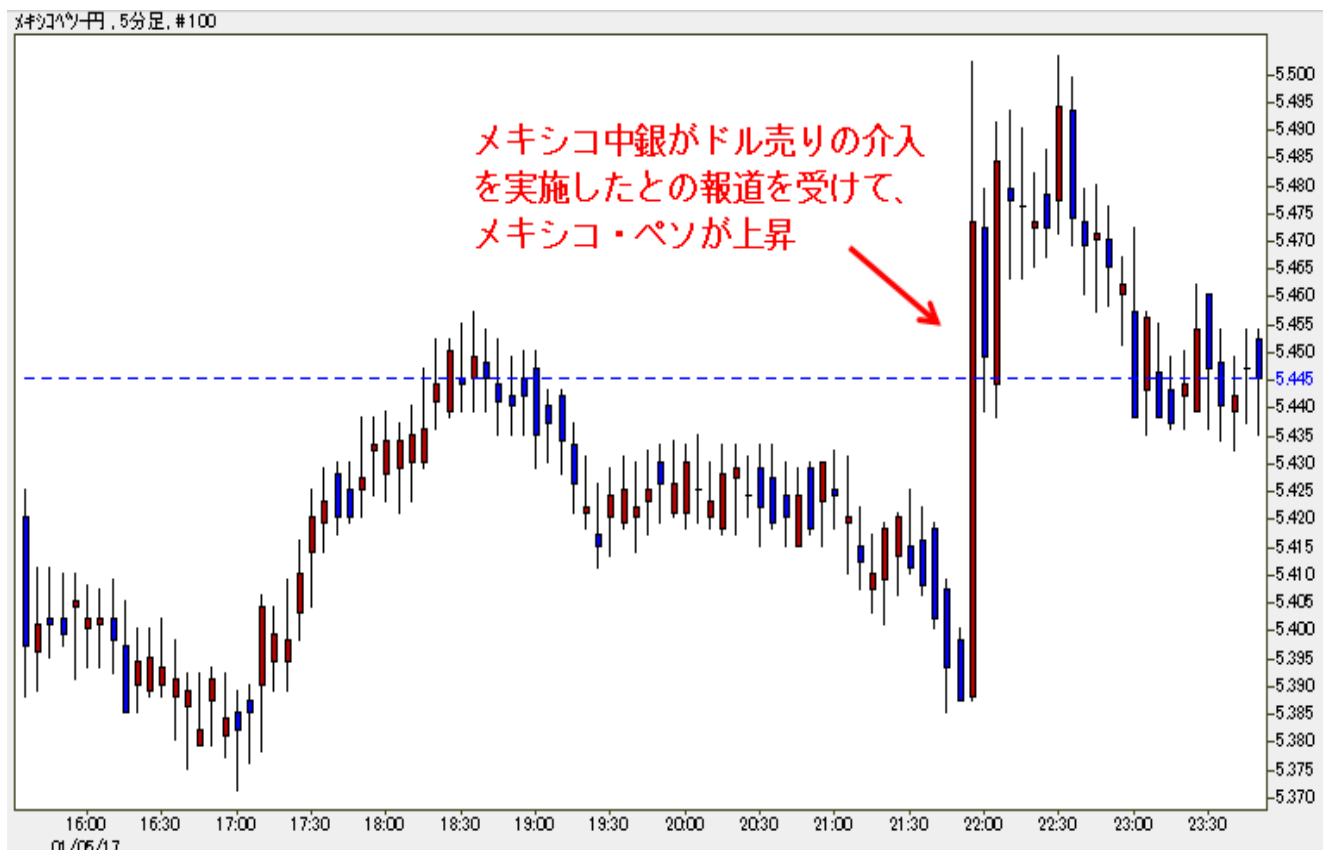
出所：Bloomberg

23 : 45

メキシコ中銀がドル売り、為替市場に流動性供給～中銀当局者



出所 : Bloomberg



出所 : Net Dania

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月米ISM非製造業景況指数 57.2 (予想 56.8・前回 57.2)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
総合指数	57.2	57.2	54.8	57.1	51.4	55.5
景況指数	61.4	61.7	57.7	60.3	51.8	59.3
仕入価格	57.0	56.3	56.6	54.0	51.8	51.9
新規受注	61.6	57.0	57.7	60.0	51.4	60.3
雇用指数	53.8	58.2	53.1	57.2	50.7	51.4

12月の米ISM非製造業景況指数は、前月と変わらずの結果となり、2015年10月以来の高水準を維持した。関連指数では、仕入価格が57.0(56.3)、新規受注が61.6(57.0)と前回から上昇しましたが、景況指数は61.4(前回61.7)、雇用指数は53.8(58.2)と低下。

1 : 00

◀ EIA 米週間在庫統計 ▶

原油在庫・・・705万バレル減少
 ガソリン在庫・・・830万バレル増加
 留出油在庫・・・1005万バレル増加
 クッシングの原油在庫・・・107万バレル増加

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、ADP雇用統計の雇用者数が市場予想を下回ったことで雇用の先行き不透明感が出て、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。今後の追加利上げのペースは緩やかになるとの見方が広がったことも支援材料となった。

午前の利回りは、30年債が2.99%(前日3.04%)、10年債が2.39%(2.44%)、7年債が2.19%(2.25%)、5年債が1.88%(1.93%)、3年債が1.43%(1.48%)、2年債が1.18%(1.22%)。

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、英 FT100 指数は住宅建設株が買われたことが全体を押し上げる結果となり、6 営業日連続で終値の過去最高値を更新した。一方、独 DAX 指数は、方向感を欠き売買が交錯する動きが続き、小幅高となった。



出所：Bloomberg

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 16.00 ドル高の 1 オンス=1181.30 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。また、トランプ次期米政権の財政政策による経済への影響について不確実性が増したとの指摘があったことも支援材料となった。終値ベースでは、昨年 11 月下旬以来約 1 ヶ月ぶりの高値水準となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.50 ドル高の 1 バレル=53.76 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米石油統計でガソリンや石油精製品在庫が市場予想を大幅に上回って増加したことからエネルギー需要の鈍化懸念が広がり、大きく下落する動きとなったものの、その後は値を戻す動きとなった。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

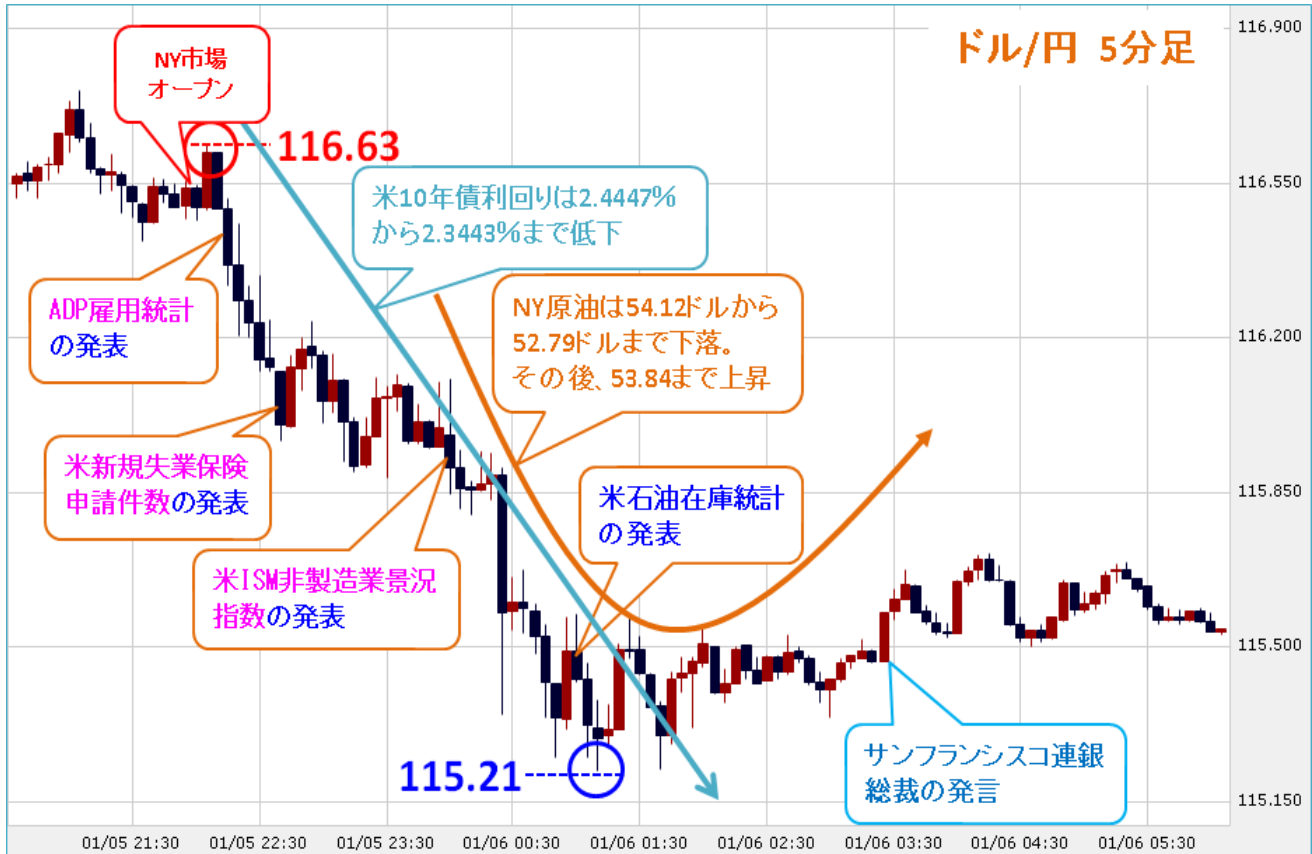
米株式市場は、トランプ次期米大統領の経済政策で景気が押し上げられることへの期待感があるものの、米雇用関連の経済指標が予想を下回ったことから、週末の雇用統計を不安視する向きもあり、売りが優勢となった。ただ、その後は下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は反落となったが、ナスダックは小幅続伸となった。



出所：Bloomberg

＜外国為替市場＞

外国為替市場は、米雇用関連の経済指標が予想を下回る結果となったことから、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、株価の下落や、米債券利回りの低下したことから円が買われる動きとなり、クロス円も軟調な動きとなった。その後は、値を戻す動きとなったものの、ドルは上値の重い動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。